

- ・ 体協記者クラブ・JOC 記者会
- ・ 都庁記者クラブ 同時発表



平成 28 年 3 月 18 日
オリンピック・パラリンピック準備局

「アクセシビリティ・ワークショップ(第1回)」の開催について 【取材案内】

東京都では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「TOKYO2020 アクセシビリティ・ガイドライン(ハード編) 暫定基準」を踏まえて、都立の恒久施設の整備をすることとしています。

このたび、障害の有無に関わらず全ての人々にとって利用しやすい施設となるよう、アクセシビリティの確保に向けて、設計段階で、障害のある方や学識経験者等から意見を聴取する「アクセシビリティ・ワークショップ」を設置いたします。

つきましては、第1回ワークショップを下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

- 1 日時 平成28年3月24日(木) 午後2時から午後5時まで
- 2 場所 都庁第1本庁舎 25階 115会議室 (新宿区西新宿2-8-1)
- 3 アクセシビリティ・ワークショップとは
 - ・より障害者の目線に立って設計を行うよう、大会競技施設の設計段階において、障害のある方や学識経験者、障害者スポーツ団体から直接意見を聴取するものです。
 - ・ワークショップは、「東京都福祉のまちづくり協議会」と連携して実施します。
 - ・ワークショップは、都が整備する施設に対して、実施設計の前などに2～3回の開催を予定しています。
 - ・ワークショップで聴取した意見や要望は、可能な限り、実施設計に反映させていきます。
 - ・対象施設は、東京2020大会で使用する11の競技施設
オリンピックアクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場、カヌー・スラローム会場、大井ホッケー競技場、アーチェリー会場(夢の島公園)、有明テニスの森、武蔵野の森総合スポーツ施設、東京体育館、東京辰巳国際水泳場、東京スタジアム
- 4 第1回の内容
オリンピックアクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場のアクセシビリティについての意見聴取
- 5 委員 別紙のとおり

6 取材について

- ・冒頭、委員長の挨拶のみ公開します。
- ・当日、午後1時30分から会議室前にて受付を開始します。
- ・カメラ位置は、受付順とします。
- ・受付で身分を証明できるもの(社員証等)をお一人ずつご提示ください。
- ・会場スペースの都合上、ムービーカメラは1系列につき1台まで、スチールカメラは1社につき1台までとさせていただきます。
- ・ご取材の際は自社腕章を必ず着用し、職員の指示に従ってください。
- ・三脚をご使用いただけない場合もございますので、ご了承ください。また、電源・音声ラインはありません。

7 取材申込

別添の取材申込書にご記入の上、3月23日(水)17時00分までにFAXにてお申し込みください。

8 ワークショップの内容の公開について

ワークショップで出された意見等については、その概要を後日、ホームページで公開します。

9 その他

携帯電話をお持ちの方は、会議中は電源をお切りいただくか、マナーモードにしてくださいようお願いいたします。

【お問合せ先】

ワークショップの内容に関すること

オリンピック・パラリンピック準備局大会準備部パラリンピック準備課 齊藤、松坂

電話 03-5320-7745 (直通) 都庁内線 38-422

ワークショップの取材に関すること

オリンピック・パラリンピック準備局大会準備部管理課 矢嶋、岩瀬

電話 03-5320-7820 (直通) 都庁内線 38-461

